



農業を学んだ成果で 将来の可能性を広げよう！

進学や就職に向けて農業知識のスキルアップを！



写真協力：秋田県立秋田北鷹高等学校

農技検

2021年度農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定

応募期間 [第1回] 4月30日(金)～6月4日(金) [第2回] 10月1日(金)～11月5日(金)

受験級 [第1回] 3級・2級 [第2回] 3級・2級・1級

試験日

第1回

7/10

土

第2回

12/11

土

日本農業技術検定は、農業の知識や技術の修得水準を評価して、教育研修の効果を高めることを目的とした、全国統一の農業専門の試験制度です。就農、農業系大学への進学、農業法人・関連企業への就業をめざす学生や社会人など、すでに延べ29万人が受検しています。

高校で学び身に付けた農業の実践的知識の成果として、農業技術検定の資格取得に取り組みましょう。進学や就職に向けたキャリアアップにつながり、農業の資格が将来の可能性を大きく広げます。

実施主体

日本農業技術検定協会
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3265-5140

e-mail：kentei@nca.or.jp

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>



【日本農業技術検定協会構成団体】(一社)全国農業協同組合中央会／全国町村会／全国農業高等学校長協会／全国農業大学校協議会／全国農学系学部長会議／全国大学附属農場協議会／(公社)日本農業法人協会／(一社)全国農業改良普及支援協会／(公財)農民教育協会／(公社)国際農業者交流協会／(一社)日本農業機械化協会／(一社)全国農協観光協会／(一社)農山漁村文化協会／(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体によって構成されています。

日本農業技術検定 概要

第1回

2021年7月10日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

応募期間

第1回 4月30日(金)~ 6月4日(金)

第2回 10月1日(金)~11月5日(金)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

[2020年度優秀表彰団体]

[3級](農業高校の部)最優秀団体:東京都立園芸高等学校、**優秀団体:**岩手県立盛岡農業高等学校、岩手県立花巻農業高等学校、秋田県立秋田北鷹高等学校、栃木県立宇都宮白楊高等学校、千葉県立清水高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、静岡県立富岳館高等学校、静岡県立田方農業高等学校、愛知県立安城農林高等学校、長野県立佐久平総合技術高等学校、岡山県立高梁城南高等学校、福岡県立糸島農業高等学校、大分県立佐伯豊南高等学校、宮崎県立宮崎農業高等学校、宮崎県立都城農業高等学校。

(JAの部)最優秀団体:JA松本ハイランド、**優秀団体:**JA富士市、JA上伊那、JA香川県、JA福岡市。

[2級](農業高校の部)最優秀団体:神奈川県立相原高等学校、**優秀団体:**愛知県立安城農林高等学校、大阪府立農芸高等学校、兵庫県立農業高等学校。
(農業大学校等の部)最優秀団体:タキイ研究農場付属園芸専門学校、専門学校山梨県立農業大学校、**優秀団体:**専門学校中央農業大学校、アグリイノベーション大学校関東校、福岡県農業大学校。**(大学の部)最優秀団体:**鳥取大学農学部、**優秀団体:**酪農学園大学、茨城大学農学部、佐賀大学農学部、宮崎大学農学部。

※(団体受験実績大学)

酪農学園大学、拓殖大学北海道短期大学、秋田県立大学、茨城大学、千葉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、岐阜大学、静岡県立農林環境専門職大学、名城大学、新潟食料農業大学、信州大学、京都府立大学、京都先端科学大学、鳥取大学、島根大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、大分短期大学、南九州大学、宮崎大学、琉球大学。

多くの大学では学生が元々農業経験もないため農学学習の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

※(団体受験実績JA)

JA新はこだて、JAみやぎ登米、JA東京中央、JAマインズ、JAかながわ西湘、JAセレス川崎、JA梨北、JAぎふ、JAしみず、JA御殿場、JAハイナン、JAなんすん、JA伊豆の国、JA富士市、JAあいち豊田、JA佐渡、JAひすい、JA石川県中央会、JA福井県中央会、JA長野中央会、JA上伊那、JA塩尻市、JA木曽、JA中野市、JAあづみ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JA信州うえだ、JAみなみ信州、JA松本ハイランド、JA東びわこ、JAこうか、JA西びわこ、JAグリーン近江、JA栗東市、JA大阪泉州、JA大阪南、JAいずみの、JA丹波ひかみ、JA三原、JA香川県、JA高知市、JA福岡中央会、JAむなかた、JA粕屋、JA福岡市、JA糸島、JA筑前あさくら、JAにじ、JAみい、JAくるめ、JAふくおか八女、JA柳川、JAみなみ筑後、JAたがわ、JA福岡京築、JAくま、JAおおいた、JAべつ日日出、JAおきなわ。

JAでは営農指導力の向上や一般職員のキャリアアップを目的に団体受験が進められています。県連グループの取り組みとしてJA営農指導員上級資格の要件の一つとしたり、一般JA職員は全員3級資格を取得するという取り組みを進めるところも出てきました。

※本検定の上位資格は一定の農業に関する実務的知識を修得していることの証明になります。

第2回

2021年12月11日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

受験料(税込)

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
3級	3,140円	2,620円	1,570円
2級	4,190円	3,350円	1,890円
1級	5,240円	4,190円	2,620円

※複数級受験割引=学科の「3級と2級」又は「2級と1級」を同一検定日に受験の場合、受験料を1,000円割引(令和3年度から)

試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

※1級、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は免除措置があります。詳しくは本検定ホームページをご覧ください。

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野(造園、農業土木、林業)別に各10問 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: 農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	

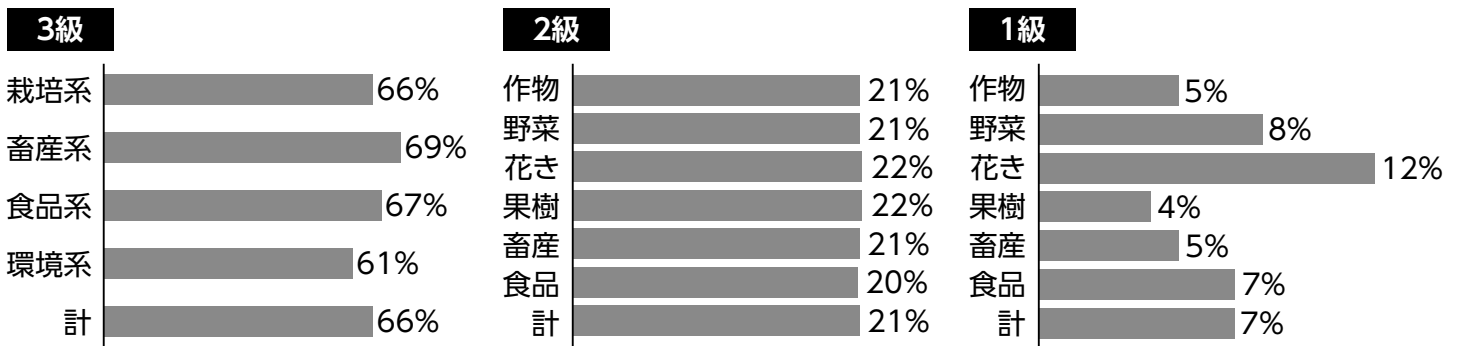
日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2015～2020年度)

(受験者数(人)
合格率(%))

	3級	2級	1級	合計
2015年度	18,926人(68%)	4,949人(21%)	245人(10%)	24,120人(58%)
2016年度	20,183人(62%)	5,350人(19%)	308人(8%)	25,841人(53%)
2017年度	20,681人(56%)	5,743人(18%)	277人(6%)	26,701人(47%)
2018年度	20,521人(62%)	5,365人(20%)	247人(9%)	26,133人(53%)
2019年度	19,992人(59%)	5,311人(23%)	266人(7%)	25,569人(51%)
2020年度	18,790人(66%)	3,015人(21%)	206人(7%)	22,011人(59%)

②科目別合格率(2020年度)



③合格基準

[3級] 100点満点の原則60%以上

[2級] 100点満点の原則70%以上

[1級] 120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(農業機械についてのほ場での実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上を履修していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお薦めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※2級、1級ともに免除申請がない場合の合格証は「学科試験合格証明書」になります。
※農業機械の実習証明に必要な講習会については本検定ホームページをご参照ください。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に開催)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校での、農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは
ホームページから

▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>
※インターネット環境がない方のために、FAX・郵送でも受付可。

①一般受験

個人がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をまとめてインターネットで申し込む。

※受験料の振込先口座番号は受験者(団体)別になっており、毎回変わります。応募期間内に所定の振込口座へ受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人など要件を満たす実施団体(受験者5名以上、試験会場を提供、試験官1名以上担当など)がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は本検定ホームページをご覧ください)

2021年版
日本農業技術検定
過去問題集
好評販売中!

3級

- (1) 2021年版過去問題集3級 (発行) 全国農業会議所
※2018年度、2019年度、2020年度試験問題5回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

2級

- (1) 2021年版過去問題集2級 (発行) 全国農業会議所
※2020年度試験問題1回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
※2018、2019、2020年度試験問題、年度毎に実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級…参考図書例 農業関係出版社

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、日本農業技術検定協会事務局宛(kentei@nca.or.jp)にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666

高校での団体受験の取り組み紹介

秋田県立秋田北鷹高等学校

検定で授業の理解度を測り、学習効果を高める

秋田県立秋田北鷹高等学校は、平成23年、秋田県北部に位置する北秋田市4校が統合した総合制高校です。農業系2学科に加えて、普通科を併設、全校生徒582名が学んでいます。統合前の鷹巣農林高校を引き継ぐ生物資源科、緑地環境科には184名が在籍しています。例年、生物資源科の1年生が12月実施の日本農業技術検定を受験し、「農業と環境」の授業の一環として“全員合格”を目標に取り組んでいますが、令和2年度は3級に27名が合格して合格率90%を達成、同年度の優秀校(農業高校の部)に選ばれました。

本校では、受験対象となる生徒には、「せっかく農業を学ぶ学科に入学したのだから、その証となる農業技術検定の資格をとり、その資格を進学・就職する際にいかし、その後も証しを自信につなげていく」ことを説明して、生徒が納得をして自主的に検定試験に取り組むよう指導しています。

とくに授業では、検定試験の過去問題を活用して、問題の解き方を生徒同士で話し合ったり、農業政策に関する問題を生徒が調べて解いていくなど、試験問題を解くことで農業知識が身に付くように工夫しています。検定試験の1週間前になると授業の残り10分で3級試験の共通問題を解いて、生徒の受験意欲を高めています。

また、試験結果は、その生徒の授業の理解度を測るバロメーターでもあり、たとえ合格しなくても、受験して正答した部分は学習の成果として評価しています。可否を問わず各自が理解の不十分なところは重点的に学習を積んで補い、不合格の場合でも積極的に次回の合格につながるように生徒を指導します。

さらに、生徒の保護者にも学校での学習内容の紹介とあわせて、その効果を高めるための検定制度の重要性を説明して、保護者による協力も得られるようにしています。そうした協力が、生徒や先生方の農業技術検定に対する取り組みを大きく支えています。

協賛企業・団体を募集しています

日本農業技術検定への協賛企業・団体の参加状況 (私達も応援しております)

日本農業技術検定は、農業教育に関連する全国14団体による日本農業技術検定協会を組織して実施していますが、本検定の取り組みの必要性にご理解をいただける企業・団体を募集したところ、以下の企業・団体のご参加がありましたのでご紹介いたします(2021年4月1日現在)。参加をご希望される企業・団体は本検定ホームページをご覧ください。



日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階

TEL:03-6910-1126 FAX:03-3265-5140 e-mail:kentei@nca.or.jp